

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

証券コード：5332

T O T O株式会社

2025. 7.31

日本住設事業

- ◆100年以上にわたり市場を築き上げた基幹事業
- ◆幅広い水まわりの住宅設備を製造・販売
- ◆新築需要に依存しない経営体質の転換を目指し、30年近くにわたり、リフォーム需要を創出



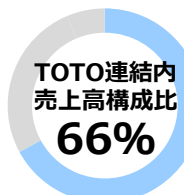
衛生陶器



温水洗浄便座
ウォシュレット



水栓金具



システムバスルーム



システムキッチン



洗面化粧台

海外住設事業

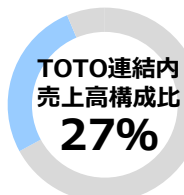
- ◆米州、アジア・オセアニア、欧州、中国大陆において事業を推進。その国・地域にとって必要な存在になることを目指す
- ◆ウォシュレット・節水便器を重点商品に据え、特に米州とアジア・オセアニアは今後の成長ドライバー



衛生陶器



温水洗浄便座
ウォシュレット



水栓金具



浴槽



洗面器

新領域事業

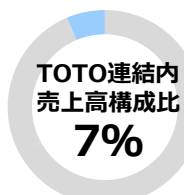
- ◆半導体やフラットパネルディスプレイの製造装置向けのセラミック商品を展開
- ◆衛生陶器で培った技術やノウハウを活用して高品質・高精度を実現
- ◆今後の成長ドライバー



静電チャック



AD部材



構造部材

1. 2026年3月期 第1四半期 決算

増収減益

日本住設事業：減収減益

- ◆リモデル売上高は前年並みも、新築売上高は前年に届かず減収。
- ◆価格改定効果はあるものの、外部調達コスト・人財投資増等の影響で減益。
- ◆売上高、営業利益の計画達成に向け、新商品等の販売を強化。

海外住設事業：減収減益

- ◆米州事業は、全チャネルにおいてウォシュレット売上が伸長し、増収増益。
- ◆アジア事業は、台湾地域、ベトナムの業績好調等により増収増益。
- ◆欧州事業は、ウォシュレット等の販売増により増収黒字化。
- ◆中国大陸事業は、減収赤字。事業構造改革を計画通り推進中。
- ◆売上高、営業利益共に計画通りの進捗。

新領域事業：増収増益

- ◆旺盛な先端半導体市況を受け、静電チャックの販売増で増収増益。
- ◆売上高、営業利益共に計画通りの進捗。

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
売上高	1,645	1,657	+12 (101%)	▲3	+15 (101%)
営業利益 【営業利益率】	98 【6.0%】	82 【5.0%】	▲16 (84%)	▲9	▲7 (93%)
経常利益	144	87	▲56 (61%)	▲50	▲6 (96%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	87	63	▲24 (72%)	▲48	+23 (127%)

■ 為替レート（期中平均）

	2024年度 1月～3月	2024年度 4月～6月	2024年度 7月～9月	2024年度 10月～12月	2025年度 1月～3月	2025年度 4月～6月
1ドル	148.6円	155.9円	149.7円	152.4円	152.6円	144.6円
1元	20.6円	21.5円	20.9円	21.2円	20.9円	20.0円
1ユーロ	161.3円	167.9円	164.3円	162.6円	160.6円	163.8円
1台湾ドル	4.7円	4.8円	4.6円	4.7円	4.6円	4.7円
1ドン	0.0060円	0.0061円	0.0060円	0.0060円	0.0060円	0.0056円
1タイバーツ	4.2円	4.3円	4.3円	4.5円	4.5円	4.4円
1インドルピー	1.9円	1.8円	1.8円	1.8円	1.7円	1.7円

〈対象事業期間〉

- 日本住設事業
新領域事業
2025年4月～6月
- 海外住設事業
2025年1月～3月
(インド2025年4月～6月)

増収減益。

P/L概要

〈対象事業期間〉

日本住設事業、新領域事業：2025年4月～6月

海外住設事業：2025年1月～3月（インドは2025年4月～6月）

単位：億円

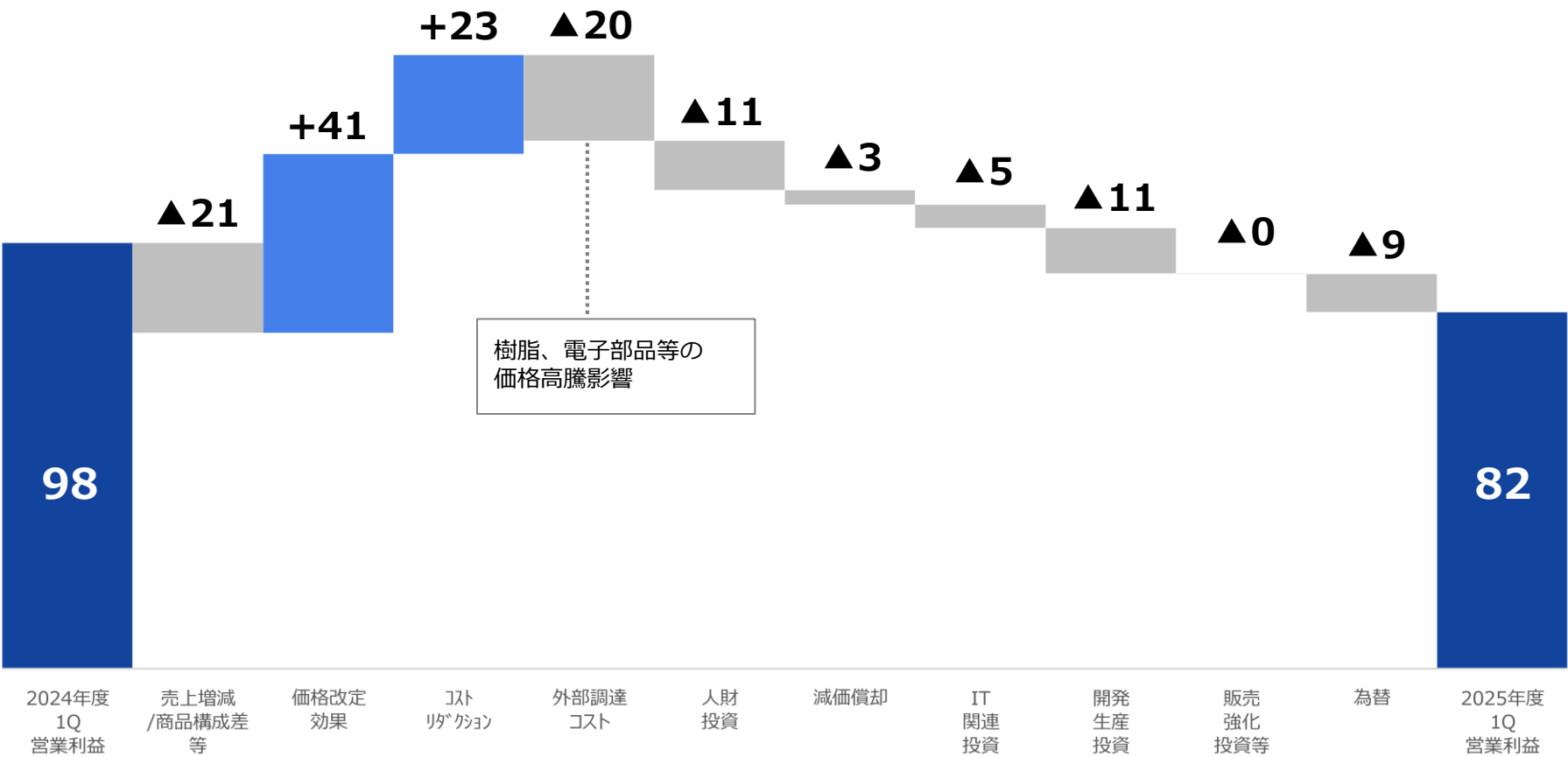
〈売上高〉	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
日本住設	1,095	1,084	▲11 (99%)		▲11 (99%)
海外住設	442	422	▲20 (96%)	+5	▲25 (94%)
新領域 ※	108	151	+43 (140%)	▲7	+50 (147%)
その他	1	1	+0		+0
合計	1,645	1,657	+12 (101%)	▲3	+15 (101%)
〈営業利益〉	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
日本住設	25	8	▲18 (31%)	▲1	▲16 (35%)
海外住設	31	20	▲11 (66%)	+0	▲11 (65%)
新領域 ※	47	60	+13 (127%)	▲8	+21 (144%)
その他	-6	-6	▲1		▲1
合計	98	82	▲16 (84%)	▲9	▲7 (93%)

※新領域：セラミック事業

住設事業は減収減益、新領域事業は増収増益。

全社営業利益の増減要因

単位：億円



※米国の関税政策影響はなし

新領域事業の売上増や価格改定、コストリダクション等の効果はあるものの
住設事業の売上減や外部調達コスト・人財投資増等の影響により減益。

リモデル（前年比）

売上高 766 億円（100 %）

営業利益 14 億円（▲15 億円）

新築（前年比）

売上高 317 億円（98 %）

営業利益 -6 億円（▲2 億円）

■ 2025年8月発売予定新商品



■ 新商品の価値伝達活動



マスコミ向け
「ウェルネス対応ネオレスト」
見学会を開催 (25.7.16)

ホームページ・WEB広告による
多くのお客様への認知・興味喚起



リモデル売上は前年並みだが、外部調達コストや人財投資増等の影響で減収減益。
8月発売予定の新商品等の販売強化により計画達成を目指す。

海外住設事業

売上高	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
米州事業	166	187	+21 (113%)	+5	+16 (110%)
アジア事業	109	112	+3 (102%)	▲2	+4 (104%)
欧州事業	12	15	+3 (122%)	▲0	+3 (122%)
中国大陸事業	155	108	▲46 (70%)	+2	▲48 (69%)
合計	442	422	▲20 (96%)	+5	▲25 (94%)

営業利益	2024年度 1Q	2025年度 1Q	前年差 (前年比)	為替 影響額	為替影響除 前年差(前年比)
米州事業	9	12	+3 (133%)	+0	+3 (129%)
アジア事業	20	23	+3 (117%)	+0	+3 (117%)
欧州事業	-1	1	+2	▲0	+2
中国大陸事業	4	-15	▲19	▲0	▲19
合計	31	20	▲11 (66%)	+0	▲11 (65%)

中国大陸事業は減収赤字も計画通り。米州・アジア・欧州事業は増収増益。

※連結調整、共通費の配賦等は含まない

売上高（前年比）

123 百万ドル（110%）

営業利益（前年差）

9 百万ドル（+5 百万ドル）

2025年度_2Q(2025年_4月～6月)売上高伸長率：前年比 103%

■ 商品別伸長率

		前年比	売上高 構成比
売上高	衛生陶器	104%	47%
	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	128%	40%
	水栓金具	83%	7%
販売台数	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	148%	

ウォシュレット販売台数
2025年度_2Q（2025年_4月～6月） 前年比： 95%

■ 市況の動向

中古住宅販売戸数前年比（納入時期ベース）
2025年 1～3月 ：106%
前年同期に比べれば伸長も、政策金利の高止まり等
による先行き不透明感で市況は低迷

■ 商品別販売状況

ウォシュレット
eコマースやリテール多店舗店を中心に
全てのチャネルにおいて前年伸長

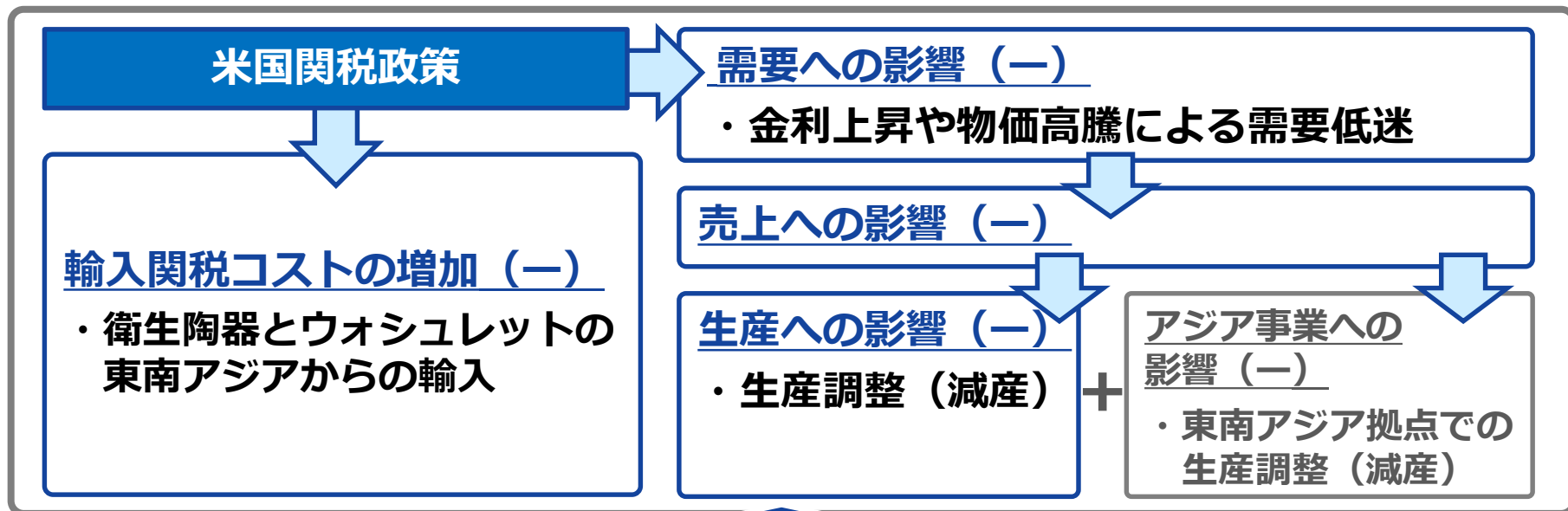
衛生陶器
市況低迷の中、中高級品の販売強化により前年伸長



全てのチャネルにおいてウォシュレットが大幅伸長し、増収増益。

米州事業：現時点での米国関税影響について

■ 米州事業への関税影響（2025年7月31日時点_各国毎の関税交渉合意分）



実施中の対応策（＋）

- ・ウォシュレットを中心とした販売強化施策の推進
- ・輸入先の構成を見直し
- ・価格改定の実施

業績への影響

（7/31時点 交渉合意分）

- ・4月末発表通期計画に織り込んだ
影響額からの変動は限定的

**米国関税政策の影響はウォシュレットを中心とした販売強化と
価格改定等に対応する。**

■売上高_前年比（現地通貨）

※連結調整、共通費の配賦等は含まない

台湾地域	1,453 百万台湾ドル	(104%)
ベトナム	1,938 億ドン	(110%)
インド	650 百万ルピー	(107%)
タイ	144 百万バーツ	(79%)

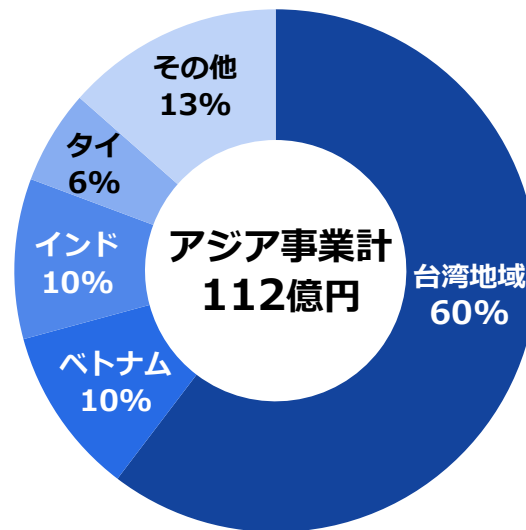
■各国・地域の状況

台湾地域：不動産市況は低調も一体形便器の伸長等により増収
 ベトナム：市況は徐々に回復傾向にあり増収
 インド：市況の厳しさはあるものの各種施策等で増収
 タイ：市況の厳しさ等を背景に減収

2Q（4月～6月）	売上高前年比
台湾地域	107%
ベトナム	119%
タイ	87%

※インド決算期
2025年4月～2026年3月

■売上高_構成比（億円）



■台湾地域

ウォシュレット：販売台数伸長（指数）



台湾地域は、不動産市況は低調もウォシュレット一体形便器の伸長等で増収。
 ベトナムは、市況は徐々に回復傾向にあり増収。

※連結調整、共通費の配賦等は含まない

売上高（前年比）

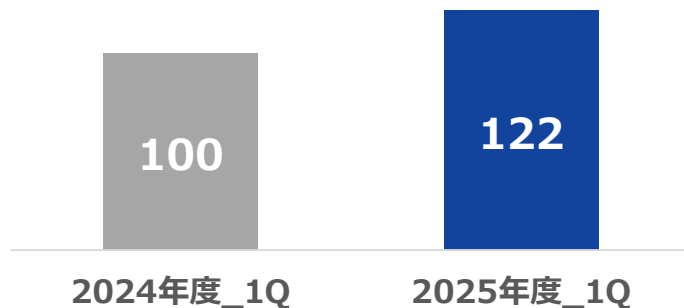
9 百万ユーロ（122%）

2025年度_2Q(2025年_4月～6月)売上高伸長率：前年比 116%

営業利益（前年差）

0.7 百万ユーロ（+0.8 百万ユーロ）

■ウォシュレット 販売台数伸長（指数）



2025年度_2Q（2025年_4月～6月） 前年比：113%

■欧州市場での地位確立に向けた取組み

代理店と協業しドイツ全土で展示会を開催
ISH2025^{*1}で展示したウォシュレット等の新技術・商品をお客様接点となるプランマー（水道工事店）に訴求

【代理店主催_展示会】



*1：25年3月ドイツで開催された世界規模の衛生・暖房業界の展示会

ウォシュレット等の販売増により増収黒字化。

※連結調整、共通費の配賦等は含まない

売上高（前年比）

518 百万元（69%）

2025年度_2Q(2025年_4月～6月)売上高伸長率：前年比 74%

営業利益（前年差）

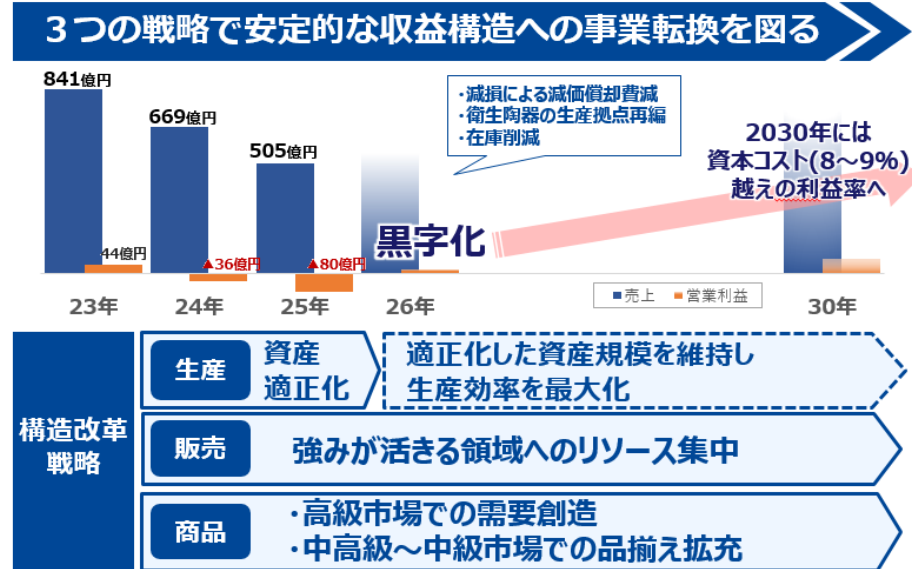
- 60 百万元（▲88 百万元）

■ 商品別伸長率

		前年比	売上高 構成比
売上高	衛生陶器	68%	45%
	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	71%	29%
	水栓金具	74%	22%
販売台数	温水洗浄便座 「ウォシュレット」	76%	

ウォシュレット販売台数
2025年度_2Q（2025年_4月～6月） 前年比：80%

■ 事業構造改革（2025年4月発表）



減収赤字。26年度黒字化に向け、事業構造改革を計画通り推進中。

生産：衛生陶器の生産再編

【生産停止工場_4月28日】

■東陶北京（北京市）

■東陶華東（上海市）

◇清算実施状況

- ・会社清算は計画通り進行中
- ・清算に伴う退職や他拠点への移動等本人合意は完了

◇構造改革に伴う特別損失の計上：約150億円

- ・当該費用は、2026年3月期の計画に織込み済

【生産工場_7月末現在】

■東陶福建（漳州市）

■東陶遼寧（大連市）

東陶遼寧（2025年5月21日稼働）

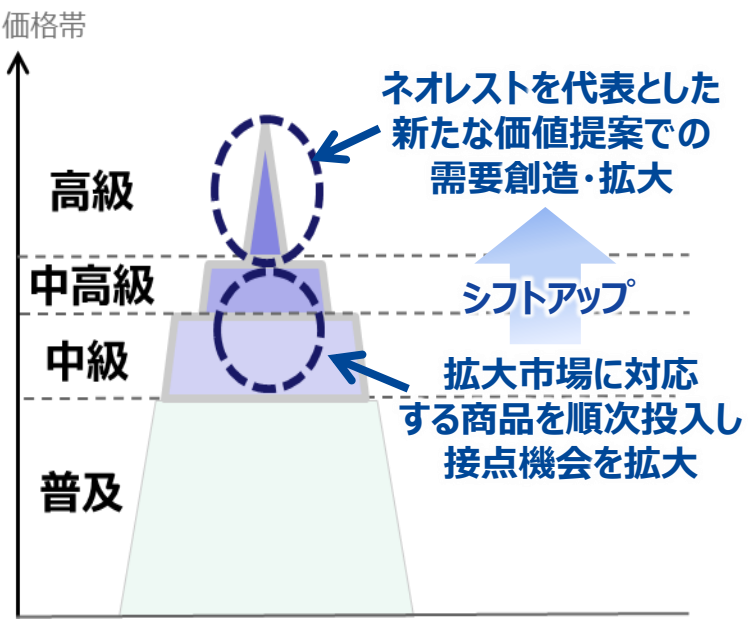
- 最新の高效率な設備導入により生産性を向上させるとともにCO2排出量の削減など環境性能も高い工場



衛生陶器の生産再編により生産効率・環境負荷軽減を最大化。
事業規模に適した生産体制とする。

商品：新商品発売計画

現状の市場構造における
新商品発売計画



27年度 新商品	
26年度 新商品	
25年度 新商品	
上期	下期
高級 洗臉台 シャワー 浴槽 トイレ	高級 洗面ボウル シャワーヘッド 浴槽 トイレ
中高級 洗面台 シャワー トイレ	中高級 洗面台 シャワー トイレ
中級 洗面台 シャワー トイレ	中級 洗面台 シャワー トイレ

TOTO Copyright © TOTO LTD. All Rights Reserved.

拡大している中級市場対応品を中心に新商品を計画通り発売。
引き続き現地ニーズを捉えたTOTOらしい商品をお届けしていく。

販売：リモデル需要への取組み

リモデルでTOTOの強みを活かせる領域にリソースを集中

- ✓ 強みを活かせるエリア・用途・業者にリソースを集中
- ✓ オンライン×オフラインを活用したお客様へのコミュニケーション
- ✓ 既存ショールームを活用した提案・施工等の機能強化

【主な取組内容】

TOTOブランドへの信頼・商品の納入実績がある
重点エリアのお客様に対し、重点代理店・内装業者と協業で
リモデル需要喚起・最新商品の価値を訴求。

絞りこんだ対象現場への攻略ノウハウを用いた協働により、
セルアウト成果が出始めている。その成功パターンに
さらに磨きをかけ、狙いの現場攻略を進める。

オンライン



オフライン

納入マンションでのイベント



誘引



代理店・内装業者
ショールーム

重点ターゲットへの活動を計画通り推進中。
代理店・内装業者との協業活動を着実に進めていく。

売上高（前年比）

151 億円（140%）

営業利益（前年差）

60 億円（+13 億円）

■主力商品概要（静電チャック・AD部材）



■主力商品・各需要の状況

静電チャック 新規・交換：両方の需要あり
データセンターの需要増に伴う
先端半導体市況の好調さを受け増収。

【新規需要】
半導体製造装置の新規投資が進み増加。

【交換需要】
デバイスメーカーの稼働が高い水準を維持し増加。

AD部材
ロジック半導体市況堅調のため増収。

旺盛な先端半導体市況を受け、静電チャックの販売増で増収増益。

2. トピックス

サステナブルプロダクツ 新商品発売

■ウェルネストイレ「ネオレストLS-W/AS-W」 日本国内 8月1日発売予定

新機能「便スキャン」を搭載、アプリで計測データを確認。



〈スマートフォン向けアプリ〉



特徴

①便スキャン

ウォシュレットに内蔵した便スキャンセンサーで落下中の便をスキャンし、便の形（硬さ）・色・量を自動計測

②TOTOウェルネス ※スマートフォン向けアプリ

毎日の便の状態や傾向、その状態に合わせたリコメンドを表示



ニュースリリース https://jp.toto.com/company/press/2025_05_28/

自然と続けられる健康習慣「デイリーウェルネス」を提案。
「きれいと快適・健康」のマテリアリティを追求していく。

社外からの評価

■「FTSE4Good Index Series」構成銘柄に10年連続で選定

～年金積立金管理運用独立行政法人GPIFが
採用するESG投資向けの全ての指数で選定～



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

■その他_GPIFが採用するESG投資指数



ニュースリリース
https://jp.toto.com/company/press/2025_07_14/

■CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」 最高評価「リーダーボード」に3年連続選定



ニュースリリース
https://jp.toto.com/company/press/2025_07_08/

■「MSCI日本株ESGセレクト・ リーダーズ指数」に2年連続、 「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」 9年連続で構成銘柄に継続選定

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

ニュースリリース
https://jp.toto.com/company/press/2025_06_13/

「きれいで快適・健康な暮らしの実現」・「社会・地球環境への貢献」を
目指し、引き続きサステナビリティ経営を推進していく。

TOTOグループの社会貢献活動

■「TOTO水環境基金」設立20周年

～国内43都道府県及び海外18カ国のべ332団体に対し助成を実施～



■TOTO水環境基金とは

- 地域を支える団体と協働で社会課題の解決を目指すために、2005年度に設立
- 地域の水と暮らしの関係を見直す継続的な活動を支援

ニュースリリース https://jp.toto.com/company/press/2025_06_30/

■TOTOギャラリー・間（ま） 2025年10月に開設40周年

～40周年記念企画展を開催～

25年度は3つの記念企画展を予定

新しい建築の当事者たち
(会期：7/24 - 10/19)



TOTOギャラリー・間
【外観】

■TOTOギャラリー・間とは

- 建築文化の醸成・育成をととして社会に貢献することを目的に1985年度に設立
- 建築やデザインの未来を切り開く場として、引き続き活動を推進

ニュースリリース https://jp.toto.com/company/press/2025_04_16_01/

■「TOTOミュージアム」設立10周年

～8月1日より10周年企画を開催～

お客様や地域の方々との接点の場として、
また、創立の地である小倉から世界へ
TOTOブランドを発信するランドマークとして、
今後も魅力ある施設を目指す

25年7月
来館者60万人を達成



TOTOミュージアム【内観】



TOTOミュージアム【外観】

**共通価値創造戦略 TOTO WILL2030のもと、地域社会の発展と地球環境の
保全に貢献する活動を積極的に推進、世界で必要とされ続ける会社を目指す。**

このプレゼンテーション資料は、2025年7月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO